



浜水高

図書館だより

今月も2名の新任の先生方の「お勧めの本」の紹介です。ここでご紹介する本は図書館にありますので、読みたい人は声をかけてください。

まず、白井明教頭先生のお勧めの本からです。

夏目漱石『坊っちゃん』

確か高校生のころの夏休みの読書感想文の宿題のため、初めて読んだ本です。有名な本なので読んだことがある人も多いと思います。まっすぐな気性で周囲の理不尽に立ち向かう坊っちゃんの姿に「すっきり」した読後感を味わうことができ、明治時代の話ながらわかりやすい文章で書いてあるので、今現在の私たちでもそう違和感なく読み進めることができます。社会で生きていくうえで周囲との協調はとても大切なことですが、それも行き過ぎると我慢ばかりを強いられる世の中になってしまいます。「そんな理不尽は我慢ならねえ」とばかり突き進む坊っちゃんの生き方に「こうできればいいなあ」と読んでいる間だけでもとてもいい気分になれる本なので、まだ読んだことがない方にはお勧めの一冊です。

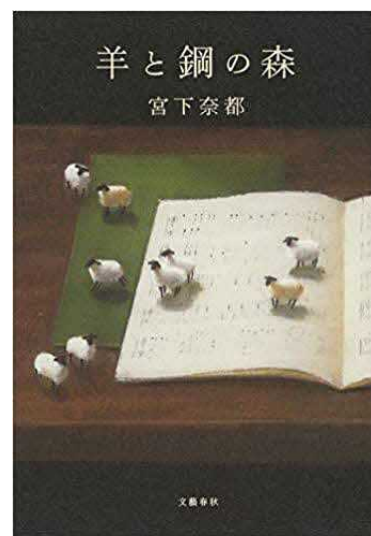


次に英語科の曾田真一郎先生のお勧めの本です

宮下奈都（2015）『羊と鋼の森』文藝春秋

この本を読んだとき、まず思い浮かんだのは私が卓球に打ち込んでいたときの思い出でした。主人公の外村はピアノの調律師になりますが、思うように上達しません。その姿に、自分では練習しているつもりでもなかなか勝つことができない自分自身を重ねたのです。

不思議なもので、物語を読んでいると、いつの間にか自分があたかもその登場人物になったかのように錯覚してしまうことがあります。そのようなときに、本は私たちに自分自身を見つめなおす機会を与えてくれるのだと思います。たくさんのお本に出会ってたくさんの新たな自分を発見するのも楽しいですね。



ニュースをよむ (4月中の見出しと前文(リード)より)

島根町火災鎮圧 燃えたのは少なくとも30棟 (4/2山陰中央)

松江市島根町加賀の大火で、少なくとも30棟が燃えたことが2日、松江市消防本部への取材で分かった。けが人は2人増えて3人となった。いずれも軽いという。火は山林にも燃え移り、鎮圧したのは発生から約8時間後の2日午前1時だった。

松江署によると、火災が起きたのは加賀公民館(松江市島根町加賀)の西南西約160㍍の民家。

発生から一夜明けた2日、住民は、がれきや窓ガラスが散乱した焼け跡をぼうぜん見つめた。避難先の加賀公民館には午前7時現在で16世帯34人が身を寄せている。避難した近くの女性(87)は「心配で眠れなかった。早く家に帰りたい」と不安そうな表情で話した。

桜島で爆発的噴火、人的被害なし (4/26山陰中央)

25日午前1時9分ごろ、鹿児島市の桜島で爆発的噴火が発生した。気象庁は当初、火砕流が南岳山頂火口から南西側へ約1.8キロ流れ下ったと説明したが、現地調査の結果、火砕流ではなく噴煙の一部と考えられている。

ワクチン接種遅れる日本、2回接種は0.4% (4/13読売)

新型コロナウイルス感染対策の「切り札」とされるワクチンの高齢者向け接種が12日始まったが、日本のワクチン接種のスピードは、欧米諸国に大きく水をあけられている。

英オックスフォード大などによる「アワー・ワールド・イン・データ」の集計(9日時点)によると、2回の接種を終えた人の総人口に占める割合は、イスラエル56.8%、米20.4%、英10.3%、日本0.4%。欧米より接種開始が2か月ほど遅かったことや、海外から輸入できるワクチン量が限られていることなどが要因とみられる。